

# 日本小児歯科学会九州地方会会長挨拶

## 日本小児歯科学会九州地方会 創立30周年によせて

日本小児歯科学会九州地方会 会長  
福岡歯科大学 臨床教授

久 芳 陽 一



日本小児歯科学会九州地方会会員の皆様方には、ご健勝にて子ども達の口腔の健康維持、増進のためにご活躍の事と拝察申し上げます。又、平素より九州地方会のためにご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

日本小児歯科学会九州地方会は、創立30周年を迎える事ができました。

これもひとえに、創立から30年の間、学会の向上、発展のためにご指導、ご助言を賜りました、歴代会長や役員各位並びに会員各位の諸先輩に対しまして、厚く厚くお礼申し上げます。

お陰様を持ちまして、九州地方会は平成25年2月18日現在、正会員524名、名誉会員4名、専門医150名（指導医を含む）、指導医25名、認定医22名、歯科衛生士41名、認定歯科衛生士14名が所属する大きな組織へと発展する事ができました。

日本小児歯科学会九州地方会大会におきましても、毎年多数の参加者を数え、開催地も福岡から沖縄まで九州各地におよび、講演・発表も多岐にわたり、活発な議論が行われるように、大変充実してまいっております。特に第29回日本小児歯科学会九州地方会では、平成23年度日本小児歯科学会中四国・九州地区合同地方会として地方会の枠を取り外して開催された初の合同地方会として注目されました。

現在、少子高齢化が急激に進み、子どもの数は減少の一途を辿っておりますが、将来の日本を背負っていくのは、子ども達です。小児の心身の健康を増進せずに、明るい未来の日本はありません。

歯科界の目標である8020運動のスタートは、小児歯科が担当します。最近の急激な少子高齢化を考える時、又、小児保健の観点から小児歯科医の重要性が再認識されています。これには小児歯科医の地域偏在の解消や、小児歯科の知識、技術のボトムアップも必要となってきます。

今後は、小児のう蝕が多い地域、小児歯科専門医が少ない地域などにも地方会として何ができるか積極的に関わって行きたいと考えております。

新たな九州地方会の在り方を皆様と共に考え構築していきたいと思っております。

今後とも九州地方会の更なる発展のために、会員各位のご支援、ご協力を賜ります様、心からお願い申し上げます。